

# あがの 市議会だより

令和5年  
**9月** 定例会号  
令和5年10月16日 発行

## 主な内容

|                |      |
|----------------|------|
| 議案ピックアップ・議決結果  | P1-2 |
| 令和4年度決算審査      | P3   |
| 常任委員会等活動報告     | P3-5 |
| 市政を問う一般質問(10人) | P5-7 |
| 次回定例会の予定ほか     | P8   |

9月14日、晴天の下、京ヶ瀬小学校5年生の稲刈り体験が行われました。子どもたちはボランティアの方から教わりながら、鎌で稲を刈り取ったり、コンバインまで運ぶなど、楽しみながら作業を行いました。



9月18日、体験型のウォーキングイベント「阿賀野ウォーク&イート」が開催されました。参加者は約7キロのコースを歩きながら、五頭温泉郷の自然と食を楽しんでいました。



## 議案ピックアップ

提案された議案について、さまざまな視点から審議を重ねます。  
9月定例会で審議した議案の中からお知らせします。

9月定例会

### 一般会計補正予算(第4号)

#### ○生活応援商品券プレゼント事業費 2億2,341万5千円

エネルギー価格等の高騰が続く社会情勢を考慮して、影響を受けている市民生活を支援するとともに、市内事業者の売上増加を図り地域経済を活性化するため、市民1人当たり5千円の商品券を配付。

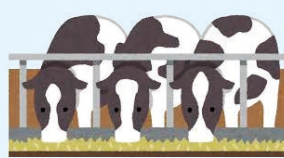


#### ○デジタル化管理事務費 104万1千円

窓口申請等における来庁者の負担軽減と職員の業務効率化を図るため、市民生活課に書かない窓口支援ツールを導入するための費用を追加計上。

#### ○肥料高騰対策堆肥活用耕畜支援事業費 800万円

農業資材・肥料・飼料価格やエネルギー価格の高騰によって大きな影響を受けている酪農家・耕種農家を同時に支援するため、市内産の堆肥を無償で提供する費用を増額計上。



#### ○奨学貸付基金支出金 3,000万円 ○旗野裕之・旗野マキ子吉田東伍記念博物館 基金造成費 2,000万円

故・旗野マキ子氏から遺贈される予定の寄付金について、ご本人の用途希望に基づき各基金に積み立てするため計上。

### 9月定例会が9月5日～22日の会期で開かれました

#### 5日 本会議

- 一般行政報告 ■議案の提案説明
- 一般質問1日目(3人が質問)



#### 6日 本会議

- 一般質問2日目(5人が質問)

#### 7日 本会議

- 一般質問3日目(2人が質問)



#### 11・12・13日 各常任委員会

- 委員会に付託された議案を審査



#### 15・19・20日 決算審査特別委員会

- 令和4年度各会計決算を審査



#### 22日 本会議

- 決算審査特別委員会、各常任委員会の審査報告のあと討論を経て採決
- ※議決結果は2ページ

○阿賀野市個人情報保護法施行条例の一部改正について

阿賀野市情報公開条例で開示することとしている公務員の氏名について、本条例においても開示する情報として明記するため改正を行います。

○阿賀野市瓢湖管理条例の一部改正について

瓢湖における魚釣りに対し、一部で可能としていたものを、釣り糸等による水鳥への被害があることから、瓢湖全面で魚釣りを禁止するため、所要の改正を行います。また、貸しボート営業に関しては、長らく申請、問い合わせもなく、野鳥が生息する環境の保全を図るため営業を行わないこととし、使用料を定めた別表を削除します。

○阿賀野市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について

近年、消防団員の定数確保が困難な現状に鑑み、実情に応じた定員数の見直しを図り、より一層円滑で機動力のある消防組織とするため、所要の改正を行います。



○阿賀野市火災予防条例の一部改正について

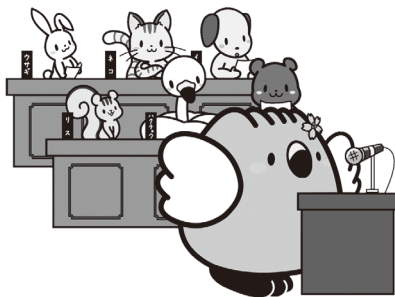
関係法令等の一部改正に伴い、蓄電池設備及び固体燃料を使用する火器設備等の基準について、所要の改正を行います。

## 9月定例会の議決結果をお知らせします

※省略：本会議で即決したもの 総文：総務文教常任委員会 社厚：社会厚生常任委員会 産建：産業建設常任委員会 決算：決算審査特別委員会 各委員会での審査結果は市ホームページでご覧になれます。

### 全会一致で議決した議案等

| 議 案 名     |                               | 審査した委員会※       | 議決結果         |
|-----------|-------------------------------|----------------|--------------|
| 令和4年度決算   | 阿賀野市一般会計決算の認定について             | 決算             | 認定<br>*可決・認定 |
|           | 阿賀野市国民健康保険特別会計決算の認定について       |                |              |
|           | 阿賀野市後期高齢者医療特別会計決算の認定について      |                |              |
|           | 阿賀野市介護保険特別会計決算の認定について         |                |              |
|           | 阿賀野市少年自然の家特別会計決算の認定について       |                |              |
|           | 阿賀野市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について * |                |              |
| 令和5年度補正予算 | 阿賀野市一般会計補正予算（第4号）             | 総文<br>社厚<br>産建 | 可決           |
|           | 阿賀野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）      | 社厚             | 可決           |
|           | 阿賀野市介護保険特別会計補正予算（第1号）         | 社厚             | 可決           |



| 議 案 名 |                                                       | 審査した委員会※ | 議決結果 |
|-------|-------------------------------------------------------|----------|------|
| 条例    | 阿賀野市個人情報保護法施行条例の一部改正について                              | 総文       | 可決   |
|       | 阿賀野市瓢湖管理条例の一部改正について                                   | 産建       | 可決   |
|       | 阿賀野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について      | 社厚       | 可決   |
|       | 阿賀野市特定教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の一部改正について                  | 社厚       | 可決   |
|       | 阿賀野市子ども・子育て会議条例の一部改正について                              | 社厚       | 可決   |
|       | 阿賀野市子ども・子育て支援法第87条の規定による過料に関する条例の一部改正について             | 社厚       | 可決   |
|       | 阿賀野市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について                  | 総文       | 可決   |
|       | 阿賀野市火災予防条例の一部改正について                                   | 総文       | 可決   |
| その他   | 市道路線の認定について                                           | 産建       | 可決   |
| 請願    | 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願書           | 総文       | 可決   |
|       | 「私立高校の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択を求める請願 | 総文       | 可決   |
| 発議    | 阿賀野市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について                         | 省略       | 可決   |
|       | 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出について              | 省略       | 可決   |
|       | 私立高校の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成増額・拡充を求める意見書の提出について      | 省略       | 可決   |

### 意見が分かれた議案等

○：賛成 ×：反対 議長（市川英敏）は採決には加わりません。

| 議 案 名 |                        |      | 審査した委員会※                                                                                                                            | 議決結果 | 公範       | 日本共産党    |          |          |          | 新風あがの    |         |          |          |         |          | 会派の所属なし  |         |          |          |
|-------|------------------------|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|---------|----------|----------|---------|----------|----------|---------|----------|----------|
|       |                        |      |                                                                                                                                     |      | 村上<br>清彦 | 宮脇<br>雅夫 | 岡部<br>直史 | 松崎<br>良繼 | 山口<br>功位 | 風間<br>輝榮 | 大滝<br>勝 | 百都<br>順也 | 加藤<br>博幸 | 遠藤<br>孝 | 荒澤<br>浩和 | 遠藤<br>智子 | 近山<br>修 | 清野<br>栄一 | 天野<br>市榮 |
| 発議    | 健康保険証の存続を求める意見書の提出について |      | 社厚                                                                                                                                  | 否決   | ×        | ○        | ○        | ○        | ×        | ×        | ×       | ×        | ×        | ×       | ×        | ×        | ○       | ○        | ○        |
|       | 討<br>論<br>（<br>要<br>）  | 賛成意見 | 意見書の趣旨はマイナンバーカードの是非ではない。トラブル続きのマイナンバーカードを一気に進めるため、命に関わる健康保険証を廃止して任意の制度であるマイナ保険証に一本化することは、無条件で健康保険証を交付する国民皆保険の崩壊に繋がりがねず、意見書を提出するべきだ。 |      |          |          |          |          |          |          |         |          |          |         |          |          |         |          |          |
|       |                        | 反対意見 | いわゆるデジタル弱者と言われている方々の不安払拭に努め、適切にデジタル化ならびに健康保険制度の維持を進める内容ならば理解できるが、単に健康保険証の存続を求めるものでは賛同しかねる。                                          |      |          |          |          |          |          |          |         |          |          |         |          |          |         |          |          |

### 議会の情報は市ホームページをご覧ください

本会議議事録や議員名簿、会議の日程、本会議の中継映像・録画映像がご覧いただけます。ぜひご利用ください。

#### ●検索サイトから

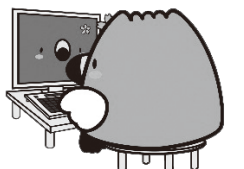
阿賀野市議会

検索



#### ●中継はこちら

会議名、議員名、用語などから検索できます。  
視聴したいものを選んでクリック！  
※スマートフォン、タブレット端末でもご覧いただけます。



阿賀野市イメージキャラクター「ごずっちょ」

令和4年度決算審査

■一般会計ほか8会計決算を認定

令和4年度一般会計ほか8会計の歳入歳出決算は、議長を除く全議員で構成される決算審査特別委員会に付託され、3日間にわたり慎重審査を行い、本会議最終日に採決の結果、いずれも認定されました。

令和4年度各会計の決算状況 (千円未満切捨)

| 会 計 名          | 歳入総額        | 歳出総額        |
|----------------|-------------|-------------|
| 一般会計           | 242億5,868万円 | 228億9,804万円 |
| 国民健康保険特別会計     | 42億3,089万円  | 41億8,615万円  |
| 後期高齢者医療特別会計    | 8億8,961万円   | 8億7,913万円   |
| 介護保険特別会計       | 53億6,744万円  | 51億7,500万円  |
| 押切外四ヶ大字財産区特別会計 | 615万円       | 430万円       |
| 少年自然の家特別会計     | 2,812万円     | 2,812万円     |

|         |       |            |       |            |
|---------|-------|------------|-------|------------|
| 水道事業会計  | 収益的収入 | 13億 252万円  | 収益的支出 | 11億2,160万円 |
|         | 資本的収入 | 4億6,465万円  | 資本的支出 | 10億4,646万円 |
| 下水道事業会計 | 収益的収入 | 18億5,606万円 | 収益的支出 | 18億1,834万円 |
|         | 資本的収入 | 9億8,770万円  | 資本的支出 | 14億1,489万円 |
| 病院事業会計  | 収益的収入 | 5億2,034万円  | 収益的支出 | 8億3,667万円  |
|         | 資本的収入 | 1億4,534万円  | 資本的支出 | 2億8,825万円  |

市長への総括質疑より

- 問下水道使用料と処理費の乖離が長年続いているが、これについてどう考えるか。使用料単価を上げる以外の方法は考えているのか。
- 答非常に乖離の幅が大きいと感じており、見直しを早急に検討するよう担当に指示を出している。見直しに一番必要なのは、接続率を上げていく、使用者を増やすということ。
- 問少子化対策、地域農業の発展のために、学校給食費の無償化やオーガニック給食の提供を行ってはどうか。
- 答オーガニック食材を学校給食に提供することは良い試みとは思いますが、量的に確保できるかが課題。農家の方がやる気になっていただくようフォローし、子どもたちの健全育成についても精一杯取組をしていきたい。
- 問今年の猛暑、干ばつにより農業が危機的状況にある。資金手当て、市の支援が必要と思うが。
- 答今後、県や農協などの動向を見ながら、市としてどんな支援が必要なのか検討を進めていきたい。
- 問昨年度に引き続き、今年度も敬老会事業が中止となったが、来年度以降の開催についてはどう考えているか。
- 答地域の関係者や協力団体からも意見を聞き、今後のあり方について検討を進めているところ。

総務文教  
常任委員会

総務部所管の市政全般の企画や調整、財務、市税、防災、教育等に関する調査や議案・請願等を審査します。

令和5年7月27日に所管事務調査を行いました

阿賀野市の災害対応について

- 今回は、避難所、設備、備蓄に関する内容に特化し、阿賀野市指定避難所データや主要避難施設等の非常用発電設備、備蓄計画等についての説明を受け、その後、主要避難所の一つである「ふれあい会館」、備蓄倉庫の「水原中学校備蓄倉庫」「水原小学校備蓄倉庫」の現地調査を行い、以下の点について確認しました。

- ③畳、段ボール仕切り  
・避難所では、畳と段ボール仕切りを使用してパーソナル空間を作れるようにしている。人数、家族構成等によって広さを変えることが可能。
- ④ワンタッチパーテーション  
・受付で、体温が高い人の接触型体温計での再測定や授乳室など、様々な使い方を考えている。
- 水原中学校  
①備蓄倉庫  
・飲料水や毛布、主に避難所で使用する資機材（トイレ関係、小型発電機、ストーブ等）を保管している。

- ふれあい会館  
①室外 発電機  
・14時間使用可能。  
・保安協会の点検対象になっている。

- 水原小学校  
①備蓄倉庫  
・飲料水、食料、衛生用品、避難所開設セットを保管している。

- ②地下貯水槽からの水道水の給水  
・簡易蛇口を設置し、揚水用エンジンを作動させることで水道水を給水することができている。
- ③災害用井戸  
・飲料水としては利用できない。（トイレ等に使用）  
・水原小学校のほか、安田小学校と市内4中学校に設置されている。

質疑・委員会意見

- ・ふれあい会館の屋外に設置してある発電機は水害時に水に浸かることはないか。  
↓現在設置してある場所は大丈夫です。



←地下貯水槽からの水道水の給水（簡易蛇口）



災害用井戸→

閉会中の継続調査事項（12月定例会まで）  
消防団の現状と今後の在り方について

## 社会厚生 常任委員会

民生部所管の福祉、介護、子ども、保健、医療、環境、生涯学習等に関する調査や議案・請願等を審査します。

令和5年7月26日に所管事務調査を行いました

### 高齢者支援の現状について

#### 地域包括支援システムの構築

急速に高齢化が進んでいる日本では、団塊の世代が75歳以上となる2025年以降、医療や介護の需要がさらに増加することが見込まれています。地域包括システムはこの問題に対応するため、介護が必要になっても住み慣れた地域で医療、介護、住まい、生活支援、介護予防の5つの構成要素が一体的に提供される仕組みです。当市でも様々な事業を展開し、地域包括ケアシステムの構築を進めています。

#### フレイル予防

フレイルとは、健康な状態と介護が必要な状態の間を指し、早期に予防すれば健康な状態に戻ることができる状態を言います。当市ではこのフレイルの対象者を早期に把握し、介護予防のアプローチへつなげるため、70歳と75歳の要支援、要介護認定者を除く対象者に対して調査を行い、フレイルの対象となった人には介護予防教室などの参加を促しています。

また、自宅でもできる体操を市独自で考案、DVDやCDを作成して講習会を開催したり、各種教室等で配布も行っているほか、包括支援センターによる健康教育等も行っています。

#### 支え合いの仕組みづくり

当市では、まずはお互いに顔の見える関係づくりから、気軽に困りごとを助け合えるようにという

ことで、拠点の居場所を整備してきました。現在、拠点の居場所は旧町村単位で4か所あり、送迎も含めボランティアが中心となって運営しています。

#### 高齢者向けサポート事業・介護保険サービス

当市では高齢者向けのサポート事業として、重度心身障害者介護手当、紙おむつ等購入費助成、緊急通報装置貸与、熱中症対策エアコン購入費助成など様々な事業が実施されています。65歳以上の高齢者のみの世帯や一人暮らしの人に、かかりつけ医や持病、緊急連絡先等を記入した救急情報用紙を入れる救急医療情報キットの配布も行っています。

また、市内には6月1日現在、県や市から許可を受けている介護保険サービス提供事業所が74事業所あり、それぞれの状態に応じたサービスを提供しています。自宅での生活環境を整えるための福祉用具貸与や住宅改修費補助等の制度もあります。

#### 現状の課題

高齢者人口の増加により、単身者や高齢者のみの世帯など、近親者から支援が得られず、孤立する高齢者の増加も考えられます。支え合いの必要性を発信し続け、自治会からも仕組みを構築してもらえよう働きかけたり、ボランティアの人材確保が必要です。フレイル予防については、対象



### 公園・キャンプ場の維持管理状況について

都市公園条例に基づく公園が13か所、公園条例に基づく公園が27か所、児童遊園設置条例に基づく公園が4か所、計44か所の公園を維持管理しています。キャンプ場は4か所を維持管理しています。

除草などの維持管理に加え、公園の遊具の点検は日常点検として、月1回職員が、公園点検カードをもとに、冬期間を除いて点検をしています。また、法定点検として、年1回、専門業者、有識者資格者による点検をしています。その結果を踏まえ簡易なものについては、既決予算内で速やかに修繕し、ある程度大きい遊具の更新や修繕については、予算を計上した上で整備をしています。

#### 委員会意見

エアコン購入費助成について、電気料が値上がりしていて、エアコンがあっても電気料を気にして付けられない人もいるので、その辺も併せてフォローできるように仕組みにしてほしい、救急医療情報キットを持つている方の情報を自治会と共有すれば、いざというときに対応できるのでは、ボランティアの人材不足については、送迎時の燃料費等、必要経費を市で支援するなどすればもっと参加しやすいかなるのでは、などの意見がありました。

#### 赤坂コミュニティ公園

場所は、小松の旧小石取小学校跡地で、旧赤坂保育園として使用していたところであり、建物とグラウンド合わせ面積は2,726㎡、施設として管理棟、物置、体育館、屋外トイレがあります。

施設の管理は、旧安田町時代から合併後の平成17年度まで、管理運営業務として小松区小松自治会に委託していましたが、平成18年度からは指定管理施設となり、小松区が指定管理者として、年9万円の指定管理料で管理しています。なお、現在の指定管理期間は、令

## 産業建設 常任委員会

産業建設部所管の道路、河川、商工業、農業、観光、公園、上下水道等に関する調査や議案・請願等を審査します。

令和5年8月8日に所管事務調査を行いました

### 公園・キャンプ場の維持管理状況について

和3年4月1日から令和8年3月31日までとなっていますが、小松区では自ら集会所を持つている中、指定管理施設の利用減少や、地域の高齢化が進んでおり、今後も施設管理を継続していくのか、次の総会で協議したい意向があります。

これを受けて、市では小松区と連絡を取りながら、次回の指定管理をどうするか調整、協議をしています。

#### 赤松山森林公園

場所は、保田赤松沢にあり、赤松山を含め面積22万674㎡と広大なエリアになります。主要施設は、キャンプ場、休息場、トイレ、駐車場などがあり、キャンプ場は無料です。

公園管理は、遊歩道の下草刈を年1回実施していますが、今年度はキャンプ場にあつた老朽化したキャンプサイトを撤去しました。

#### 奥村杉キャンプ場

場所は、阿賀野市大室の国有林野内にあり、全体として面積5,382㎡、キャンプ場エリアは500㎡となっています。施設は、炊事場、トイレ、東屋などがあり、キャンプ場は無料です。

キャンプ場管理は、状況を見ながら除草や木の枝打ちなどを実施しています。

赤松山森林公園、奥村杉キャンプ場とも、管理人はおらず利用者が自由に利用できる状況にあります。

#### 委員会意見

赤坂コミュニティ公園にある体育館の傷みが進んでいるので、災害時の損傷、事故も懸念されることから、十分注意を払うとともに、その取扱いについては地元自治会と丁寧なやり取りを願います。

赤松山森林公園のテントサイト付近のナラの木が枯れており、倒木のおそれがあります。周辺樹木の確認と早急な伐採により利用者の安全確保を図ってください。

奥村杉キャンプ場には、注意喚起の看板があるが、砂防ダムならびに砂防ダム流路に立ち入り禁止の処置がなされていないため、転落の可能性が大きい。早急に何らかの対応を行うよう、強く要望します。

また、赤松山森林公園、奥村杉キャンプ場など、利用者が自由に利用できる施設については、今後の運用を検討するにあたり、その利用状況等を把握する必要があります。

このことにより、将来的な位置付けを含め、課題などの共有化を図ることができるところから、利用者数の概要把握に努めてください。



公園・キャンプ場の説明を受ける委員

市の仕事を3つに分け、関係する議案等の審査や調査を行います。  
阿賀野市では議員1人が2つの委員会に属しています。(ただし議長は常任委員になりません。)

閉会中の継続調査事項(12月定例会まで)  
放課後児童クラブの運営状況について

閉会中の継続調査事項(12月定例会まで)  
安野川地区湛水防除事業の状況について

## デジタル化推進チーム 視察研修



議会におけるペーパーレス会議システム（タブレット端末）導入に向けて、7月4日、先進地である富山県小矢部市議会へ視察に伺いました。同議会では令和元年6月にシステムを導入し、9月定例会から運用を開始されています。

資料配付・情報伝達の迅速化、作業の効率化による事務コストの削減が期待できるほか、システムに資料が蓄積されていくので必要な資料がピンポイントで検索が容易にできます。議員一人に一台のタブレット端末を持つことで、議員活動の活性化につながり、災害時の情報共有などにも有効であると、システム導入の効果を挙げていました。

小矢部市議会の取組を参考に、本市議会においてもペーパーレス会議による議会運営の効率化、連絡手段の改善などにつなげていくよう、システム導入の協議を進めていきます。



## 総務文教常任委員会 視察研修

7月12日～13日に視察研修を行いました。

### ○富山県富山市役所

#### ・公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりについて

富山市では、人口減少や超高齢化、公共交通の衰退等の課題解決に向け、2002年頃からコンパクトシティ政策を本格的にスタートしました。

公共交通の活性化、公共交通沿線地区への居住推進、中心市街地の活性化を3本の柱に様々な取組を行った結果、市内電車の利用や転入人口の増加、地価の上昇等の効果が表れており、今後も持続可能で質の高い「選ばれるまち」を目指し、分野横断的かつ包括的な施策展開を図っていくそうです。

#### ・スマートシティ推進事業について

富山市では、コンパクトシティ政策と課題・ゴールを共有し、特に、富山市版スマートシティの推進にあたっては、デジタル技術・データを活用して新たな課題解決を図りながら一体的な施策展開を行っています。

そのために、各種会議やワークショップを繰り返し、市民ニーズを徹底的に掘り起こすことで得られた約2,700の意見から、取組の方向性、まちづくりの目標、施策テーマを定め、10年後に向けて産学官民が連携した取組のロードマップを作成して、施策が展開されているとのこと。

今後、本市においてもDX等を通じて市民サービスの充実やまちづくりを図る上で、市民中心・市民協創の視点が重要であることを学びました。



### ○新潟県糸魚川市消防本部、糸魚川駅北広場キターレ

#### ・防災（防災体制、避難所運営等）について

#### ・大火の概要と駅北広場の役割について

糸魚川市駅北大火は平成28年12月22日に出火し、災害救助法が適用されたほか、被災者生活再建支援法が適用された火災です。

木造密集市街地で気象等条件が揃えばどこでも同様の火災は起こり得るという当事者意識、自助・共助・公助に基づく日頃からの備え、火災の記憶を風化させないよう、周りや次世代に伝えていくことの3点が重要であることを教訓にして、復興に向けて様々な事業が行われているとのこと。

2020年には、大火の記憶を伝承する展示スペースと防火水槽を設けた復興まちづくりの拠点『キターレ』が竣工しました。当委員会では、この施設及び周辺の復興整備地区の現地視察を行いました。

もともと糸魚川市では、火災のほかにも水害、土砂災害など多くの災害を経験しており、防災対策に力が入られています。自助・共助・公助の視点から各種訓練や研修、防災イベントが盛んに行われており、自主防災組織の組織率は85%を超えるなど市民の防災意識の高さも実感できる視察となりました。

## 一般質問

### 地域・市内産業の育成 成長対策について



新風あがの  
加藤 博幸

**質問** 市内企業の景況感を伺う。  
**答弁** 一部で売上げの持ち直しも原材料費、人件費の高騰が課題。

**質問** 公共事業の実施状況を伺う。  
**答弁** 発注情報を丁寧に提供。

**質問** 8月末時点の発注率は約52%。  
**答弁** 市内企業に対するA-Iなどの最新技術導入支援の考えを伺う。

**質問** 実施主体の表明がないと取り組めない。  
**答弁** 集落・自治会内の声を聞いての施策への反映状況を伺う。



無会派  
清野 栄一

### 学校図書費の流用等 について



**質問** 6月6日の新聞報道によると、文科省は令和3年度小中学校の図書購入費220億円を市町村に配分しているが図書購入は6割弱にとどまり、図書購入の割合は年々減少傾向にあると指摘。そこで令和3～5年度の本市の状況について伺う。  
**答弁** 文科省からの配分額（3年間分）は小学校分約1,630万円、中学校分約890万円、市から小学校への配当（3年間分）は607万円、中学校には

**答弁** 人手不足で声をすくい上げきれない。

**質問** 「人・農地プラン」策定の進捗状況を伺う。  
**答弁** 7月よりJA、土地改良区、農業委員会が連携し、各地で説明会を実施しているところ。詳細を聞きたい要望もあり、鋭意対応中である。

**質問** 障がい者等の社会福祉団体、組織への支援を伺う。  
**答弁** 各世帯と同様に原材料・燃料価格の高騰の影響はあると認識している。対応を検討していきたい。

**質問** 道路・交通環境の整備について  
**質問** 市民ニーズとの隔たり解消に向けて伺う。  
**答弁** 公共交通に市内移動の満足度は53・8%、市外移動の満足度は45・8%と低い状況。市

### 道路・交通環境の 整備について

**意見** 市から学校への配当は受け入れ額の約1/3、読書は考える力のもとであり、本来の趣旨に基づき全額配当すべき。

330万円。

**質問** 本市では国の方針を受け平成27年少子化・人口減少問題を克服するための「阿賀野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し子育て環境日本一など4つの基本目標を掲げ、持続可能なまちづくりに取り組んでいるが、この8年間の評価について伺う。  
**答弁** 4つの基本目標に係る32指標のうち9指標は目標に到達しているが、合計特殊出生率は目標値1・63に対し1・15、県平均の1・32を下回っており注力していく。

### 持続可能なまちづく りについて

### 業務執行体制、職場環境 の最適化について

**質問** 時代に即した組織づくりの考えを伺う。  
**答弁** デジタル技術を活用した取り組みや作業の標準化を進め、職員がより価値ある業務に注力することができる環境の整備に努める。



**質問** 本市の合計特殊出生率は20市中19位である。目標では、阿賀野市で子どもを産み育てる、もう一人子どもをもてるための経済的支援を行うとある。公共事業を見直し、子育て支援を充実することにより人口増になるまちもある。本市の公共事業22億円のうちたった1割の額で学校給食の無償化が可能、学校給食の無償化に取り組むべきである。  
**答弁** すでに各種支援を行っている。

**質問** 市民病院の救急指定はあきらめたのか。また、安田地区では診療所が1件廃止となり診療所の確保を望む声がある。  
**答弁** 市民病院の救急指定は引き続き厚生連に要望していく。診療所の廃止対応は市民病院が担う。

◆その他の質問◆定員適正化計画について



共産党  
宮脇 雅夫

## 介護人材不足と介護保険料上昇の対策を

**質問** 2000年度に介護保険が導入されてから今年度で23年となる。この間の介護報酬の実質改定率はマイナス5・7%の大幅削減となつている。介護保険をめぐる矛盾は、「介護難民」「介護離職」「ヤングケアラー」問題の顕在化となつて現れている。「介護の社会化」によって、介護にかかわる家族の身体的経済的負担を解消する介護保険の目的は達成されていない。

特に、公的介護制度の存廃を脅かす重大問題となつているのが、介護人材の不足と介護保険

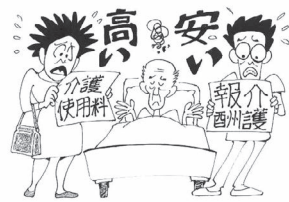
料の上昇である。阿賀野市での合併時からの介護保険料の推移、施設介護職員や介護ヘルパーの人材不足や処遇の実態と認識、特養ホーム入所待機者数について伺う。

**答弁** 介護保険料は、第2期（2003年～2005年）で月額3,286円、第8期（2021年～2023年）は月額6,486円（約2倍）となつている。当市では、介護人材不足により、昨年度、2つの訪問介護事業所が閉鎖された。介護職員の待遇改善は、国の支援加算金により9,000円のベアスアップが期待されたが、平均3,528円。特養ホームの入所待機者数は、45人（今年5月現在）。

**質問** 政府は介護保険第9期に向け、利用料の原則2割化または2割負担・3割負担の対象拡大、要介護1・2の訪問・通所

介護を介護保険から外して「総合事業」への移行、ケアプランの作成の有料化、福祉用具のレンタルから買い取りへの変更、介護保険料の徴収年齢の39歳以下への引き下げ等を計画していたが、国民の批判で一部先延ばしをしている。これが実施されたらどうなるのか、見解は。

**答弁** 第9期計画では、制度の持続と負担の抑制を両立できるように、国の議論を注視しながら見直しに取り組んでいく。



◆その他の質問◆特別障害者手当の適用拡大を



共産党  
松崎 良繼

## 異常高温・干ばつの農業被害対策を

**質問** かつて経験したことのない異常高温と少雨、これ自体災害ではないかと考えるが市長の認識を伺う。

**答弁** 干ばつ・高温による農産物の被害状況を問う。

**答弁** 詳細は調査中だが、山手を中心に水稻、枝豆、大豆、里芋で干ばつ被害が確認されている。

**質問** あらゆる資材費、燃料費の高騰と農産物価格の低迷の中で追い打ちとなり、このままでは生産費が賄えず、離農、耕作放棄が加速する。灌水のためのポ



## 低所得世帯へのエアコン助成制度拡充を

**質問** エアコン購入助成制度の対象拡大、助成額引上げを。

**答弁** 制度見直しの必要性について検討していく。

**質問** 新規の購入のみ助成対象だが、壊れて使えなくなった世帯へも助成すべきだ。

**答弁** エアコンのない世帯が残されており、まず未設置の人を優先し、その後についても検討していく。

## 災害時の緊急避難対策を問う

**質問** 山手地区の避難指示が出された一昨年8月の集中豪雨では、地域避難所への避難が必要なたったが活用されなかった。防災塾、避難訓練の実施が必要ではないか。

**答弁** 地域避難所の設置は山手区域で17自治体。市も協力して活用を進める旨避難訓練時に話をしていく。



新風あがの  
遠藤 孝

## 阿賀野市の地域経済活性化 住環境整備の促進について

**質問** 水原バイパス全線開通に伴い、村杉、今板、出湯の五頭温泉郷、および市の観光案内の看板が必要かと思うが、市の見解を伺う。

**答弁** 水原バイパス全線開通時に、デジタル社会に対応した手法も含め、効果的な観光案内の計画を検討し、観光振興に取り組んでいく。

**質問** 市の花「コスモス」、市の木「桜」について、コスモスは残念ながら市の花とうたっているのにコスモス畑すらない。今後のコスモス、桜の普及につ



いて市の見解を伺う。

**答弁** 「コスモス」については、コスモスロードやコスモスきょうがせまつりを通じて、今後普及させていく。「桜」については、市内で桜の植樹などを推進している民間団体と相談しながら、今後の植樹を考えていく。

**質問** 地域経済活性化と住環境整備のために市の土地をどう有効利用するのか。

**答弁** 令和4年7月に都市計画マスタープランを改訂し、持続可能なまちづくりの方向性を示したところ。今後もマスタープランに即して、農業、商工業、住環境の調和が図られたまちづくりを推進していく。



新風あがの  
百都 順也

## 避難所の運営について

**質問** 初動期の避難所の開設・開設は誰がどのような手順・優先順位で行うか、またその基準となるマニュアル等の策定状況は。

**答弁** 「災害時職員初動マニュアル」を策定しており、警戒レベルの基準に合わせて配備体制が定められ、あらかじめ避難所ごとに割り当てられた担当職員が避難所の開設・開設を行う。

**質問** 高齢者向けのバリアフリー化や、女性の更衣室、授乳室確保などのプライバシーに配慮した避難所運営に向けて、これまでの具体的な取り組みや今

後の考え方は。

**答弁** 学校体育館等へのスロープを設置し、併せて多目的トイレも整備してきた。更衣室や授乳室等の確保が難しい施設にはパーテーションを設置し、スペースを確保する。

**質問** 自主防災組織には平時、災害時問わず重要な役割があり、避難所運営においてもなくてはならないものであるが、当市における補助金の活用状況も含めた具体的な活動状況は。

**答弁** 昨年は堀越地域での避難訓練のほか、2つの自治会で防災塾を開催した。今年は3自治会が防災塾の開催を予定している。今後も引き続き、自治会に防災塾の開催を呼び掛けていきたい。補助金については、過去10年間で3件の申請があり、160万円から200万円が交付されている。



時にもエネルギーを確保できる自立型の発電・空調設備を整備することは、避難所の機能と夏場の空調という両面から重要であると考えるが、当市の見解は。

**答弁** 相当の費用が必要となることから今のところ整備予定はないが、優先順位をつけたうえでの導入について検討課題としていきたい。

◆その他の質問◆市長が考えるまちづくりの目標について

**質問** 市内各所の公園の利用頻度が少ないように感じるが、市の見解を伺う。

**答弁** 市が維持管理している公園は44か所。少子化が進む中、多くの公園で利用者が減少している。市のシンボル公園である瓢湖、道の駅あがの、各地区の基幹公園を集中的に充実させていきたい。

**質問** 新規事業の2次交通実証事業Aーデマンドバスの進捗状況を伺う。

**答弁** 9月2日から運行を開始し、11月までの3か月間、実証運行を行う予定。実証運行終了後、利用者アンケートや乗降データなどを集積、分析し、事業効果を検証するとともに、市内交通弱者の利便性につながるかも検討する。



共産党  
岡部 直史



## マイナンバー取得と資格証の発行手続きについて

**質問** マイナンバーカードの取得と健康保険証の紐付けは、期限となる来年秋に向けて事実上強制的に推進されている。各種世論調査でも延期や撤回を求める声が増えつつある。地元紙の報道によれば、県内の市長からも疑問の声が出ている。

**回答** 認知症や寝たきりの人、心身に障がいのある人たちは、来年秋までにマイナンバーカードの手続きができない場合、「資格証」の発行はどうするのか。

**質問** マイナンバーカードから



無党派  
遠藤 智子



## 「書かない窓口」について

**質問** 「書かない窓口」は、各種証明書の交付を受ける際、本人確認に必要な申請内容を聞き取り、システムに入力、申請者は内容確認と署名をして手続き完了で、申請書を書く手間が省け待ち時間の短縮、行政の効率化も図られるとの先進事例が聞かれるが、当市の取組の進捗状況を伺う。

**回答** 「窓口入力支援システム」の導入に向けた検討は、令和7年度末までに完了する基幹業務システムの標準化に向けた取組と一体的な形で進めていくこと

のオンライン資格確認を受けることができない方を対象に、現行の保険診療が受けられるよう「資格確認書」を発行する。

マイナンバーカードの取得で、病気や障がい等で来庁が困難な場合は、郵送やインターネットで申請できる。本人の意思表示が難しい方は成年後見人が法定代理人として申請ができる。健康保険証廃止後も健康保険証を最大一年間有効とする経過措置が設けられた。

**質問** 来年秋の期限を過ぎても現在の保険証が使える措置というところか。

**回答** そのとおり。

**質問** カードの暗証番号が覚えづらい人は、暗証番号なしでもカードを取得できる措置を設けるとの情報があるが承知しているか。

**回答** 承知している。いろいろな矛盾が出てき



ていることについて、市長はどう考えるか。

## 災害時の避難所の発電・冷暖房設備の充実を

**質問** 災害時の要支援者への対応について伺う。

**回答** 要支援者の能力に応じて支援体制を決めて対処する。移動に専門性を要する場合は福祉医療関係者が支援する。

**質問** 指定避難所の冷暖房設備や自家発電設備は、もっと充実させる必要があると思うが。

**回答** 指定避難所33か所、冷暖房設備があるのは11か所、自家発電設備は8か所。施設整備には相当の費用が必要となるが、今年の暑さを考えると、今後の検討課題ととらえている。



無党派  
天野 市榮



## 県営ほ場整備事業の現状と課題について

**質問** ① 当市を含む新発田地域振興局管内4市町全体のほ場整備率は59・9%。一方、当市は26・1%と管内最下位。栗島浦村を除く県内における順位と事業が遅れている要因は。

② 推進18地区のうち、農家負担のない機構関連型が1地区しかないのはなぜか。

③ 実施7地区における標準区画面積、中心経営体への集積率はどれくらいか。

④ 調査2地区、仮同意済6地区、仮同意予定4地区における標準区画面積、中心経営体の集



新風あがの  
風間 輝榮



## 新型コロナウイルス感染状況について

**質問** 感染状況はどうなっているのか。

**回答** 8月6日までの週がピークで、8月に入ってから、一部の高齢者施設で集団感染が確認された。

**質問** 接種状況はどうなっているのか。

**回答** 65歳から69歳は接種率66・3%、70歳代は74・7%、80歳以上は71・6%。

## 集会用施設建設費補助金について

**質問** 空き家・空き店舗も補助金の対象にできないものか。

積率はどれくらいか。

⑤ 2割園芸の義務化はいつから始まったのか。義務化されている期間は。

⑥ 2割園芸の作物選定について、えだまめなど県や市が推奨する作物を栽培してもらうような働きかけは行っているのか。

⑦ 事業推進に向けた市・土地改良区・農協の連携は。

**回答** ① 県内においても最下位。安野川の改修など排水対策を優先的に進めてきたことや土地所有者の同意が得られなかったことが主因。

② 一般型と比べて採択要件が厳しいため。

③ 標準区画面積は50から60アール、集積率は事業完了後5年以内に100%達成を目標。

④ 今後地区の話し合いにより決定。

⑤ 令和元年度採択の発久地区以降が対象。事業完了後5年以



**後日回答** 空き家・空き店舗を自治会が取得した後、修繕する場合は、既存の集会用施設に該当するので補助対象とする。

## 下水排除基準に違反した業者の行政処分について

**質問** これまで9回の行政指導を行ったにも関わらず十分な改善がなされていないが、その後の経過はどうなっているのか。

**回答** 7月15日の2回の水質検査においては、基準違反の項目があるものの一定の改善が見ら

内に園芸作物の作付面積が2割以上になることを目標。

⑥ J Aや農家の意見を聞きながら、市が推進する高収益作物の中から選定。

⑦ 各地区に市やJ A、土地改良区の関係機関による推進協議会を組織。事業達成の目的ごとに地元農業者で構成される各種委員会を設置。事業採択前は推進委員会を、事業採択後は営農、換地、工事委員会を設置。



出来秋。収穫期に入ったほ場

## ◆その他の質問◆阿賀野市公共施設等総合管理計画の進捗状況について

れた。早期改善に向けて強く指導していく。

## 五泉地域衛生施設組合中間処理施設建設工事について

**質問** 当初契約額に13億2、470万6、900円を追加した契約金額の変更に、臨時会で異論は出なかったのか。

**回答** インフレスライド条項の規定に基づき、労務単価・資材費の上昇を増額したもの。異論はなかった。

## 市長交際費について

**質問** 情報の開示をできない理由は何か。

**回答** 阿賀野市情報公開条例第10号第2号「個人に関する情報であって、特定の個人が識別され、又は識別されるもの」に該当するため、不開示としたもの。

## 次回12月定例会の予定

11月24日の議会運営委員会で正式に決定します。  
その後、市ホームページでお知らせします。

| 月 日       | 会 議 名                   |
|-----------|-------------------------|
| 11月24日(金) | 議会運営委員会<br>(定例会の運営方針決定) |
| 12月 6日(水) | 本会議 (議案上程、一般質問)         |
| 12月 7日(木) | 本会議 (一般質問)              |
| 12月 8日(金) | 本会議 (一般質問)              |
| 12月11日(月) | 総務文教常任委員会               |
| 12月12日(火) | 社会厚生常任委員会               |
| 12月13日(水) | 産業建設常任委員会               |
| 12月15日(金) | 本会議 (委員長報告、採決)          |



## 阿賀野市合併20周年

9月24日、阿賀野市合併20周年記念式典とイベントが道の駅「あがの」で開催され、市議会からも市川英敏議長ほか15名の議員が出席しました。

式典では、田中清善市長、帆刈謙治県議会議員、市川議長による記念植樹や市内4中学校吹奏楽部の演奏が行われたほか、式典最後のバルーンリリースでは、色とりどりのバルーンが放たれ、晴れ渡った秋空を彩りました。

式典終了後のイベントでは、地元太鼓集団「心鼓夢」のパフォーマンスやバルーンアート、ガラポン抽選会などが行われました。



## 第46回水原まつり

8月24日、25日の2日間、4年ぶりとなる「水原まつり」が開催されました。24日は神楽と獅子の共舞、民謡流し大会、ザ・灯籠来舞、25日には瓢湖大花火大会が行われました。

灯籠来舞には、市議会を代表して村上清彦議員が審査員として参加しました。4年ぶりの祭りを心待ちにしていた市民の熱気で大いに盛り上がりしました。



## にいがた阿賀野産直市

首都圏の駅での地域活性化・観光流動創造を目的とした情報発信の一環として行われている「にいがた阿賀野産直市」が、今年も7月22日～24日にJR大宮駅で開催されました。

阿賀野市の特産品(農産物・加工品・地酒)の販売や安田瓦のミニ鬼瓦型押し体験などで阿賀野市の観光PRを行い、市議会から村上清彦議員、百都順也議員、荒澤浩和議員も応援に駆け付けました。

また、阿賀野高校の生徒が阿賀野市の魅力を多くの人に発信したいと考え、市の食材を使った「マンガープリン」「はちみつレモンヨーグルトプリン」を地元企業と連携し、企画・販売しました。

このプリンや旬の枝豆「えんだま」は、列車荷物輸送サービスにより大宮駅へ新幹線で輸送されました。



### 議会を傍聴しませんか

事前の申し込みは必要ありません。傍聴席入口にある受付簿に住所・氏名をご記入いただくだけで傍聴できます。

※席数には限りがありますので、満席の場合は傍聴できないことがあります。

※マスクの着用については個人の判断といたしますが、発熱や体調不良等の症状がある方は傍聴をご遠慮ください。



### 議員としゃべりましょでば!

皆さんのもとへ伺い、意見交換・議会報告をします。自治会・団体・グループ等でお気軽に申し込みください。



まちづくりポイント対象事業です

【会 場】原則、市内の公共施設・地区公会堂等  
※使用料が必要な場合は、団体で負担してください。

【申込方法】申込書を議会事務局へ提出してください。  
申込書は議会事務局に用意してあるほか、ホームページからもダウンロードできます。  
※お問い合わせはお近くの議員または議会事務局へ

### ようこそ阿賀野市へ /

## 行政視察受入れ

7月13日に静岡県裾野市議会総務委員会の皆さまが来庁され、「道の駅」整備事業について研修を行いました。

当市建設課担当者から説明を受けた後、「道の駅あがの」を見学されました。



## 県事業要望会が開催されました

8月31日、阿賀野市における県事業要望会が開催され、市川英敏議長、山口功位産業建設常任委員会委員長が出席しました。

市役所での説明の後、要望箇所の現地視察も行われました。



発行：阿賀野市議会  
編集：議会改革推進特別委員会  
広報広聴部会  
〒959-2092  
阿賀野市岡山町10番15号  
TEL：0250-61-2489  
FAX：0250-61-2067  
E-mail：gikai@city.agano.niigata.jp

お問い合わせは  
こちらから



次号は令和6年1月15日発行の  
予定です。

議会改革推進特別委員会広報広聴部会  
部長 松崎良  
副部長 岡部直史  
荒天清 近村遠 岡部直史  
澤野山 上藤智彦 和榮一修

広報広聴部会委員 村上清彦  
今後ともわかりやすく見やすい誌面づくりに努めてまいりますので、皆様からのご感想やご提案をお聞かせいただければ幸いです。

今年度はコロナ禍の影響で見合わせていた市内のイベント等がほぼ通常どおり開催されています。各地に出かけてさわやかな秋を存分に満喫していただければと思います。

記録的な猛暑日が続いた今夏。9月に入っても熱中症警戒警報が発せられる異常な状況でしたが、ようやく過ぎやすくなつてまいりました。

### 編集後記

